

現代社会を見つめて10

情報サービス課 石美 真也

『中国経済のジレンマ』 関志雄 著（筑摩書房）247p. 18cm

中国は1970年代末に、それまでとっていた計画経済体制を見直し、市場経済を導入し始めました。そして、社会主義市場経済体制の確立を目標とし、現代の高度成長に至っています。中国の経済体制はどのような性質を持ち、今後どのような動きを見せるのでしょうか。

本書では、中国の改革開放を資本主義への移行過程と考え、中国経済が分析されています。中国のとっている社会主義市場経済体制の特徴や、この体制が抱えている問題点が記されています。この中で、中国経済は「社会主義の高級段階」でなく、「成熟した資本主義」に向かっており、これまでの公平性を欠き、効率のみを重視した政策を改めなくてはならないとされています。経済成長が大変進んでいる反面、貧富の差の拡大や金融問題など問題も多く存在する中国経済を、様々な面からみてみましょう。

332.22-Kan

『EUの知識』（第14版）藤井良広 著（日本経済新聞社）242p. 18cm

EUの誕生により、ヨーロッパ諸国の統一が大きく進められました。統一通貨であるユーロも2002年1月から市場の流通が開始され、ドルに並ぶ基軸通貨となっています。しかし、様々な特徴を持つヨーロッパ諸国を一つにするのは難しく、EUは数多くの問題を抱えています。EUはどのような機関であり、どのような動きを見せるのでしょうか。

本書では、EUの現状が歴史を踏まえて詳しく解説されています。EU成立までの経緯や、ユーロに対する評価、EUを構成している機関など、様々な面からEUが分析されています。ヨーロッパ諸国の統合を推進しているEUですが、ユーロの導入や欧州憲法条約の批准についてなど、問題も多くあります。EU諸国の統合がさらに進んでいくのか、各国の足並みが揃わず行き詰まりを見せるのか、何れにしても世界に大きな影響を与えようと思われれます。今後の世界情勢を見据えるためにも、EUに関する知識を深めましょう。

333.7-Fuj

『平成不況の論点』 大竹文雄、柳川範之 編著（東洋経済新報社）xi, 192p. 19cm

現在、日本の景気は大不況から脱し、回復傾向にあるように感じられますが、日本の景気がこのまま回復していくとは限りません。今後の日本経済が再び大不況に陥らないためにも、不況の原因や対処法を分析することは必要です。しかし、経済に関する理論や見方は様々なものがあり、簡単に答えが出るものではありません。

本書では、日本の経済政策、金融政策、不良債権処理問題などについて、異なった意見を持つ経済学者の対論が紹介されています。日本が平成不況に陥った原因や必要とされる対応などが論じられ、日本経済に対する様々な考え方を知ることができます。ただし、それぞれの論者が全く対立した意見を持っているのではなく、共通した見解を持っている事項も数多くあります。日本経済について様々な見方で考えてみましょう。

332.107-Ota



いしみ しんや（司書）